

令和6年度 小平市立小平第八学校 学校評価計画表

学校教育目標 学習指導要領に基づき、東京都教育委員会の教育目標及び基本方針、小平市教育振興基本計画を踏まえて教育課程を実施する。「確かな学力、豊かな人間性、健康な体」を基盤とし、コミュニティ・スクールとして、保護者、地域が一体となった学校づくりを目指す。地域に根ざした教育活動を推進することによって、「思いやりがあり心豊かな子」「すすんで社会に貢献しようとする子」「自ら学ぶ創造力豊かな子」「健康でたくましい子」の育成を目指し、教育目標を設定する。◎思いやりのある子 ○よく働く子 ◎工夫する子 ○元気な子

目指す学校像(ビジョン)
 【目指す学校像】 ○児童が登校を楽しみにする学校 ○保護者や地域社会に信頼され、応援していただける学校
 【目指す児童・生徒像】 ◎思いやりのある子 ○よく働く子 ◎工夫する子 ○元気な子
 【目指す教員像】 ○それぞれの立場でよさを発揮し活躍する教員

前年度までの学校経営上の成果と課題
 学校評価の各項目において保護者・地域の方から、概ね肯定的な回答を得ることができた。各学年の発達段階に応じた、児童発案の活動を多く取り入れ、自己肯定感や自己有用感を高めることができた。今年度は開校60周年を迎えるので、改めて学校・地域・家庭の連携を大切にして、コミュニティ・スクールとしての地域力の活用を目指していく。

	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	取組指標	成果指標
学力向上	基礎・基本を定着させながら、教育ICT環境の実現をすることで、学力を向上させる。	基礎学力の定着を図る。	授業・モジュール・家庭学習等で繰り返し練習させ、小テスト・計算名人検定・東京ベーシックドリルを行い、漢字や基本的な計算を習熟させる。	4 教職員の自己評価で、肯定的回答80%以上	4 漢字テスト・計算名人の平均点が80点以上
				3 教職員の自己評価で、肯定的回答70%以上80%未満	3 漢字テスト・計算名人の平均点が70点以上80点未満
		GIGAスクール構想に基づき、一人一人の教育的ニーズや学習状況に応じた指導を行う。	一人1台の学習者用端末を活用して、個に応じた指導を工夫する。	2 教職員の自己評価で、肯定的回答60%以上70%未満	2 漢字テスト・計算名人の平均点が60点以上70点未満
				1 教職員の自己評価で、肯定的回答60%未満	1 漢字テスト・計算名人の平均点が60点未満
健全育成	望ましい基本的な生活習慣、行動様式を身に付けさせ、社会性を育む。	いじめの未然防止、早期発見、早期対応を徹底する。	毎月行われる校内委員会やいじめ対策委員会を中心に、組織としていじめ防止の取組を推進し、未然防止・早期発見・迅速かつ丁寧な対応に努める。	4 教職員の自己評価で、肯定的回答80%以上	4 「友達と仲良くできたか」の自己評価で肯定的回答をした児童80%以上
				3 教職員の自己評価で、肯定的回答70%以上80%未満	3 「友達と仲良くできたか」の自己評価で肯定的回答をした児童70%以上80%未満
		道徳科、規律ある集団生活を通して、自己実現を図る能力と態度を身に付けさせる。	「挨拶・思いやり・清掃・廊下歩行・外遊び」に関する月目標を設定し、全教員で一致した指導を行う。	2 教職員の自己評価で、肯定的回答60%以上70%未満	2 「友達と仲良くできたか」の自己評価で肯定的回答をした児童60%以上70%未満
				1 教職員の自己評価で、肯定的回答60%未満	1 「友達と仲良くできたか」の自己評価で肯定的回答をした児童60%未満
キャリア教育	小学校段階におけるキャリア教育の在り方を追求する。	八小キャリア教育プログラムに沿って、キャリア教育の視点を取り入れた教育活動を行う。	生活科・総合的な学習の時間や特別活動等を核とした授業や日常生活において、学年に応じたキャリア教育の実践を行う。	4 教職員の自己評価で、肯定的回答80%以上	4 「いろいろな人と協力して学習しているか」の自己評価で肯定的回答をした児童80%以上
				3 教職員の自己評価で、肯定的回答70%以上80%未満	3 「いろいろな人と協力して学習しているか」の自己評価で肯定的回答をした児童70%以上80%未満
		集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決に向けて話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりする。	全学年で発達年齢に応じた児童発案の活動を実施する。	2 教職員の自己評価で、肯定的回答60%以上70%未満	2 「いろいろな人と協力して学習しているか」の自己評価で肯定的回答をした児童60%以上70%未満
				1 教職員の自己評価で、肯定的回答60%未満	1 「いろいろな人と協力して学習しているか」の自己評価で肯定的回答をした児童60%未満
コミュニティ・スクール	コミュニティ・スクール5期目(14年目)として、学校経営協議会の組織及び運営方法を更に充実・改善する。	ホームページ・コミュニティだより・地域教育コーディネーターだより等による積極的な情報発信を行い、学校と家庭・地域との絆を深める。	ホームページの更新を週1回程度、コミュニティだよりは月1回発行、必要に応じて地域教育コーディネーターだよりを発行する。	4 達成率100%	4 保護者・地域の肯定的回答80%以上
				3 達成率80%以上	3 保護者・地域の肯定的回答70%以上80%未満
		学校経営協議会を月1回実施し、地域の意見を学校経営に取り入れ、学校の活性化を図る。	全教員が輪番で学校経営協議会に参加し、授業で積極的に地域人材の活用を図る。	2 達成率60%以上	2 保護者・地域の肯定的回答60%以上70%未満
				1 達成率60%未満	1 保護者・地域の肯定的回答60%未満
業務改善	業務改善や教職員の働き方を見直し、学校における働き方改革の取り組みを推進していく。	勤務時間を意識した、会議や研修の精選や設定を行い、授業準備や校務作業の時間を確保する。	日々の業務の精査を行い、事務作業についてはSSSとの連携を図りながら行う。	4 教職員の自己評価で、肯定的回答80%以上	4 教職員の改善実感率80%以上
				3 教職員の自己評価で、肯定的回答70%以上80%未満	3 教職員の改善実感率70%以上80%未満
				2 教職員の自己評価で、肯定的回答60%以上70%未満	2 教職員の改善実感率60%以上70%未満
				1 教職員の自己評価で、肯定的回答60%未満	1 教職員の改善実感率60%未満